「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

　　　　　　　　　日時　　平成27年6月5日（金）9：35～12：20

　　　　　　　　　対象　　益田市立道川小学校　　5・6年5名

　　　　　　　　　指導者　埋蔵文化財センター職員

道川小学校教諭

１．主題　　　縄文・弥生人の生活を知ろう

２．ねらい

　○自分たちの住む身近な地域の遺跡を知り、古代人の生活に興味・関心を持つ。

　　○石器に触れたり、古代食作りをしたりする体験を通して、古代人の生活への理解を深める。

３．展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 時間 | 　　　　学習活動 | 指導者の支援・配慮事項 | 分担 |
| 9:35～9:40～　10:1510:25～　10:4010:45～　12:1512:15～ | 1.オリエンテーション・講師紹介と今日の活動の流れを確認する。2.縄文時代・弥生時代の説明　①昔の食べ物について（骨・どんぐり、トチなどの出土品を見る。）　②狩りや漁の仕方と道具について　（石鏃・打製石斧・石錘などの出土品を見る。復元図を示す。石器を触る。）　③調理の方法について　（剥片・石皿・磨石などの石器を触る。復元石器で紙や鉛筆を切ってみる。）2.匹見町内の遺跡の説明・自分たちの住む地域にどれくらいの遺跡があるか、今からどれくらい前のものかを確認する。3.古代食作り　・古代米の炊飯　・どんぐりハンバーグ作り　・どんぐり団子汁作り古代食を試食する。片づけをする。4.まとめと振り返り・感想を発表する。 | ・講師の紹介をする。・学習の内容やねらいを説明する。・指導者がパワーポイントなどの視覚的教材や写真、遺物や実物を提示することで生徒の興味・関心を高めることができるように配慮する。・エプロンを着て調理の支度をする。・古代米の炊飯方法、どんぐりハンバーグ、どんぐり団子汁の作り方について説明する。・安全面、衛生面に十分配慮し活動中は適宜助言や支援を行う。 | 担任職員職員職員担任 |

※準備するもの

（学校・生徒）　　パソコン、プロジェクター、長机、調理器具、食器、食材（生もの）

　　　　　　　　　エプロン、マスク、筆記用具

（埋文センター）　食材、炊飯用土器、遺物、学習の資料、アンケート用紙等